

第 1 回次世代育成支援対策地域協議会 会議録

日 時	平成 2 1 年 9 月 2 4 日 (木) 午前 10 時から午後 12 時 5 分
場 所	笠間市役所 大会議室
出席者	<p>【出席委員】 増淵委員, 清宮委員, 佐藤委員, 打越委員, 湊委員, 柴山委員, 村上委員, 前川委員, 藤岡委員, 秋本委員, 小菅委員, 染谷委員, 鈴木委員, 安田委員, 高橋委員, 畑岡委員, 中庭委員, 岡野委員 (委員会資料名簿順)</p> <p>【欠席委員】 常井委員, 岡部委員</p> <p>【事務局】 櫻井子ども福祉課長, 海老沢少子化対策室長, 岡野主査, 佐藤まちづくり研究所所員</p>
傍聴者	0 人
会議次第	1、開会 2、委嘱状交付 3、市長あいさつ 4、委員長・副委員長の選出について 5、議事 (1) 笠間市次世代育成支援行動計画前期計画の実施状況について (2) 次世代育成支援に関するニーズ調査の結果について (3) 笠間市次世代育成支援行動計画後期計画の策定について (4) その他 6、閉会

<p>会議内容</p> <p>・委員長・副委員長の選出について</p> <p style="padding-left: 2em;">委員委嘱後最初に開催される会議のため、委員長が選出されるまで山口市長が進行する。</p> <p>市長 選出方法については、委員の互選なので意見を伺いたい。</p> <p>委員 事務局案があれば伺いたい</p> <p>事務局 委員長に安田委員、副委員長に佐藤委員をお願いしたい。</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局案了承</p> <p style="padding-left: 2em;">委員長挨拶後会議を進行する</p>	
---	--

議事（1） 笠間市次世代育成支援行動計画前期計画の実施状況について

事務局 配布資料1に基づき説明
以下、主な意見

意見 20 ページのNo.192 に防犯等の整備が掲載されている。
岩間地区は重点地区ということで地元地区に15 灯程設置された。
特に、岩間第3小、岩間中学校の通学路にもあたる地区であるのでありがたい。

意見 社会福祉協議会として、1 ページのNo.2 に子育てサポート事業について、協力しているが、以前は多くの利用者がいた。
しかし、運輸局の指導により子どもの送迎はしてはいけないとされてからは、送り迎えなどの利用が大きく減り利用者も減少した。
もう少し、利用しやすくなればよいと思う。

回答 子育てサポートについては、自家用車で運ぶことは老人はよいが子どもはダメである。
もともと子育てサポートは、スタート時点から子どもを保育するために必要な送迎は認められているが、送迎だけではその趣旨に沿わないため、認められていない。今後、その趣旨を徹底させ、利用者を増やしていきたい。

意見 9 ページの「かさま健康ダイヤル24」について、年中無休ということであるが、どのようなものなのか。

回答 健康ダイヤルは平成21年6月から実施した。
フリーダイヤルで24時間対応することを広報紙等で周知している。
申し訳ないが、実績については今すぐにはわからないが、これからどれだけ市民にPRしていけるかが大切だと考えている。

意見 資料について、各事業に前期目標と達成状況が掲載されている。
例えばNo.6の地域交流事業は、前期目標は「継続」、達成状況は「7か所」となっているが、この兼ね合いがよく理解できない。
達成状況については、“よくやった”という評価でよいのか。

回答 前期計画は、旧市町の計画書を合算させてとりまとめたものである。
目標については、分かりにくいものもあり、後期計画においては具体的に進めていきたい。

意見 事業はPDCAサイクルをうまく回していくことが重要であり、P（計画）はその出発点にあり、大切であるため、より具体的に示していかなければならない。ところで、この計画の対象である子どもとは何歳までを言い、どのライフステージを重点的に見ていく予定であるのか。

回答 家庭を築きあげる男女の出会いから児童扶養手当等の対象年齢である 18 歳までを考えている。さらに、今までの計画は道路整備なども含めて網羅的になっている傾向がある。

どこに重点を絞っていくのかを定める事が必要。

また、後期計画の策定に向けては笠間らしい計画としていきたい。

議事 (2) 次世代育成支援に関するニーズ調査の結果について

事務局 配布資料 2 に基づき説明

以下、主な意見

意見 民主党になって、補助が進むとみられるが、実際、世帯の所得はあまり増えていない。

現在の子育てにはお金がかかりすぎるとというのが問題であると思う。

また、笠間は広い敷地に住んでいる人も多いので同居も多いと思われる。

意見 所得面から子育てを支援することは考えているのか。

実際にどのくらい対応していけるのか。

回答 アンケートからだど、医療費補助などが多くあげられていることは明確である。

後期計画の目標値で金額までは示せない。

取り組みによって達成できる率などを示すという考えである。

意見 アンケートでは、家庭内でどの程度、子どもと接していたかの質問はなかったのか。

回答 今回の質問にはなかった。

意見 日本は先進国でありながら、子育て、教育に国は費用をかけていないということを聞く。

意見 家庭教育学級など全保育所幼稚園をも対象にしてとても取り組んでいるようだが、親の支援を行っていくということは大切である。

意見 課題については、これまでの資料で出ている。

今後、市としてどこに支援をどのくらいかけていくつもりなのか。

目標を具体的に示していただきたい。

予算の流れで来年の予算に計上し、実施していくということが大切。

今年進める部分を示して欲しい。

回答 市では様々ご意見を聞いて、示された課題については、優先的に実施していく予定である。

後期計画は 21 年度いっぱいまで定めて実質 22 年度から執行し、新規施策に

については実際には 23 年度から予算に反映させていくことになる。

意見 予算の話になるが、P T Aなどで保護者の意見を聞くと、学校への助成が削られていて、合併して悪いほうの面が目立っていると感じる。
一例をあげると、年間の負担が大会出場などで優秀な学校ほど、家庭の負担が増えている現状がある。

回答 助成する制度はあります。

意見 No.134の学校施設の整備は耐震の話が載っているが、学校施設の維持管理、例えば吹奏楽の楽器など備品は市で購入できないものか。
いっぺんに更新するのは難しいので徐々に購入するなど。

回答 市が各学校へ割り振った予算の中で行っている部分だと思う。

議事 (3) 笠間市次世代育成支援行動計画後期計画の策定について

事務局 配布資料 3 に基づき説明
以下、主な意見

意見 成長という面が、基本理念で示されていると思うが、親の成長も大切である。
この視点を、ぜひ考えて欲しい。
検討を進めていくと、最後は基本理念に戻ってくるものである。

意見 遊び場についても意見があったが、使い方の工夫、プレーパークなどいわゆる冒険遊び場的な公園の工夫も必要だと感じている。

意見 公園は車でないと行けないところも多いので、駐車場の整備を進めて欲しい。

意見 政策の対象は、子どもと親、行政、市民、企業等がネットワークを組み、お金、人、時間、物をどのように使っていくのかが大切な視点である。
できるだけ、具体的に設定した方がよい。

意見 9 ページに人口構成が載っているが、だいたいこのような状況にあることを実感している。
世代によっては時間的な余裕がある人が多いので、世代間の連携を考えていくことも重要ではないかと思う。

意見 30 ページの“空間”プロジェクトでの地域の役割の中で、発達に不安のある子どもを対象とした…とあるが、この方だけではないので、すべての人を対象とした表現としてほしい。

議事（4）その他

事務局 現在、保育所の整備計画も併せて進めているため、5名の委員の方に協力をお願いし、小委員会を設置したい。

役目は諮問答申ではなく、率直な意見を頂く場とさせていただきたい。

また、委員5名の方は事務局で指名させていただきたい。

設置について了承、指名された委員も承諾。

事務局 次回の会議は11月を予定している。